

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記の研究検査項目の受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [27105] aPS/PT抗体 (抗フォスファチジルセリン依存性プロトロンビン抗体)

受託開始日

- 平成29年12月1日(金)



aPS/PT抗体(抗フォスファチジルセリン依存性プロトロンビン抗体)

抗フォスファチジルセリン依存性プロトロンビン抗体(Anti-phosphatidylserine/prothrombin antibodies ; aPS/PT抗体) は抗リン脂質抗体症候群 (APS) との関連が注目されており、フォスファチジルセリンに結合したプロトロンビンに対する自己抗体です。

抗リン脂質抗体とはカルジオリピンなどの電気的陰性およびフォスファチジルエタノールアミンなどの電気的中性リン脂質に対する自己抗体の総称です。

従来より全身性エリテマトーデス (SLE) などの自己免疫疾患患者では流産や子宮内胎児死亡が多発することが知られていますが、近年これらの疾患の発症に抗リン脂質抗体が大きく関連していることが明らかとなり、前述の不妊症や抗体の存在により引き起こされる血栓症等をまとめてAPSと称するようになりました。また最近では、病原性を持つ抗体の多くは、実はリン脂質そのものに対する抗体ではなく、リン脂質に結合する β_2 -glycoprotein I (β_2 GPI) に代表される血漿蛋白に対する抗体であるということが分かってきました。

APSは抗カルジオリピン抗体やループスアンチコアグラント (LA) により診断されてきましたが、今回受託を開始するaPS/PT抗体はAPSに対する新しいマーカーです。

本検査はIgG、IgM両方のaPS/PT抗体が測定され、そのいずれもが静脈性血栓症との関連が示唆されており、LA活性との関連も有意とされていることから、今後の有用性が期待されています。

検査要項

項目コード	27105
検査項目名	aPS/PT抗体(抗フォスファチジルセリン依存性プロトロンビン抗体)
検体量/保存方法	血清 0.4mL / 凍結 [容器番号: 01→容器番号: 02]
検査方法	EIA
参考基準値	IgG : 30.0 units 以下 IgM : 30.0 units 以下
所要日数	5~16日
検査実施料	未収載

参考文献

- Vlagea A, et al : Clin Appl Thromb Hemost. **19** (3) : 289-296, 2013.
Sciascia S, et al : Thromb Res. **133** (3) : 451-454, 2014.